

堺市長様

開発者

住所（所在地） _____

氏名（名称） _____

（代表者氏名） _____

開発区域の所在地 _____

誓約書

今回開発行為等を計画している共同住宅は、計画段階であり、防災アクションプランを定めるべき管理組合は存在していない状況となります。また、災害時の救出・救助資器材、飲料水や食料の確保の要件についても適合性を確認できない状況となっております。堺市開発行為等の手続に関する条例（平成15年堺市条例第22号）第7条第1項及び条例施行規則（平成15年堺市規則第82号）第16条第1項第3号の規定により、特に市長において協議の必要がないと認める開発行為等として認定を受けるにあたり、次のとおり誓約いたします。

記

1. 当該物件販売時の重要事項説明書に、日頃からの住民の防災意識を高め、災害時に円滑に防災活動を行うことができるよう年に1回以上防災訓練を行うとともに災害時のマンション住民の生活維持や、地域への貢献に寄与するため、マンションの防災上の特色や管理組合等が行う防災対策等について「防災アクションプラン」として明文化し、これを管理規約等に定める旨を記載したうえで、契約者に対し説明を行い、遵守させること。
2. 当該物件販売時の重要事項説明書に、共用部に確保した防災倉庫に救出・救助資器材、飲料水及び食料の備蓄が必要な旨（飲料水及び食料については以下の項目ごとにいずれか一つ以上を選択し、○を付した備蓄品について備蓄が必要）を記載したうえで、契約者に対し説明を行い、遵守させること。

飲料水の確保	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水を戸数×42リットル以上備蓄すること 家庭備蓄と合わせて確保する場合は、各家庭において備蓄すべき数量を防災アクションプランへ明記すること
	<ul style="list-style-type: none"> 小型造水機を設置すること（ただし、有効な水源があること）
食料の確保	<ul style="list-style-type: none"> 煮炊き不要な食料を戸数×21食以上備蓄すること 家庭備蓄と合わせて確保する場合は、各家庭において備蓄すべき数量を防災アクションプランへ明記すること
	<ul style="list-style-type: none"> 炊き出し実施可能なかまどベンチ等（燃料、大型鍋等を含む）を確保すること かまどの数量は2基以上（ただし、戸数200戸を超える場合は200戸までごとに2基ずつ加算するもの）とし、燃料の量は1日3食7日間炊き出しをするために必要な数量以上とすること